

環境マネジメントシステム

事業者が自主的に環境保全に関する取組を進めるに当たり、環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境管理」又は「環境マネジメント」といい、このための工場や事業場内の体制・手続き等を「環境マネジメントシステム」といいます。

環境マネジメントは、事業活動を環境にやさしいものに変えていくために効果的な手法であり、幅広い事業者が積極的に取り組んでいくことが期待されています。（環境省ホームページより）

環境マネジメントシステムには国際規格であるISO14001や、簡易版の環境マネジメントシステムであるKESがありますので以下に概略を紹介します。

■ ISO14001

ISO14001は、環境マネジメントシステムの仕様（スペック）を定めた国際的な規格であり、ISO規格に沿った環境マネジメントシステムを構築する際に守らなければならない事項が盛り込まれています。

ISO14001の基本的な構造は、PDCAサイクルと呼ばれ、（1）方針・計画（Plan）、（2）実施（Do）、（3）点検（Check）、（4）是正・見直し（Act）というプロセスを繰り返すことにより、環境マネジメントのレベルを継続的に改善していきこうというものであり、その基本的な流れは、下図のようになっています。（環境省ホームページより）

【詳しい情報入手先】 (財)日本適合性認定協会（JAB） <http://www.jab.or.jp/>



■KES (KES・環境マネジメントシステム・スタンダード)

中小企業が、分かりやすく取り組みやすい「環境マネジメントシステム」の規格の一つとして平成13年4月に誕生しました。

ISO14001 又は KES 等を認証取得すると、企業間の取引先として優遇措置が受けられる可能性があります。

規格の内容

内容や表現を平易で取り組みやすくし、段階的に取り組める二つのステップがあります。

ステップ1：環境問題に取り組み始めた段階で、環境保全活動になじむことを目指します。

環境宣言を定め、これを実行する計画を立てて進みます。

ステップ2：環境保全を進めるため、システムを項目別に作り実行します。

将来ISO14001 にステップアップするベースにもなります。

【詳しい情報入手先】NPO法人・KES環境機構 <http://www.keskyoto.org>



廃棄物による環境負荷を低減するためには上流対策が不可欠です。

【京都グリーン購入ネットワーク】

環境への負荷が少ない商品やサービスを優先的に購入する「グリーン購入」を普及するとともに、グリーン購入に取り組む事業者を支援する団体です。京都市、京都府をはじめ京都府内の多くの事業者、自治体等が参加しています。

【詳しい情報の入手先】京都グリーン購入ネットワーク

<http://www.k-gpn.org/index.html>